

## メッセージ



スポーツ少年団活動に携わってくださっている皆様方におかれましては、常日頃より青少年の健全育成に向けご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。皆様方のご努力により、地域内の交流が活発になり、スポーツを通したネットワークが広がり、地域づくり・まちづくりがなされていることに対しても感謝にたえません。

「少年団の活動もこれからの中学校部活動も、子どもたちの学校時間を除く自由時間は学校内ではなく『地域社会の中にある』方向に進めなければならない」と私自身考えることから、勝利を目指すより優先すべきは楽しい活動であると捉えております。私たちは、不登校気味の子、障害をもっている子も含め一人でも多くの子がスポーツに喜びを感じてもらえるよう力をつくさなければなりません。

○失敗を恐れず自信をもって試合や練習にのぞむ。

○団員が上手にできなかったら子どもたちと一緒にどうしたら上手になれるかを話し合う。そして

○何よりそのスポーツを好きにさせる。

子どもたちに楽しくスポーツに取り組ませる環境を一緒につくっていくために、是非とも皆様方のお力添えを頂戴したいと思います。子どもたちみんながスポーツ少年団に入って良かったと思ってもらえるよう願いをもちながらお取り組みいただけますと幸いです。

多くの指導者の皆様方は保護者からの様々な期待に対し、指導の継続に困難さを感じる場面があるのではないかと考えます。親しまれ敬われる対象でないことに報われない思いをいただくこともあるかもしれません。そのような時でも、スポーツ少年団の理念をベースとした、熱意と指導法で、スポーツの素晴らしさと価値を共有できるよう常日頃から粘り強いコミュニケーションをお願いいたします。

幼児期からのアクティブチャイルドプログラムの巻末には「よい指導者の観点」として

○楽しく遊ぶことを通して多様な動きを経験させる（その大切さを保護者に伝える）」

ことが第1項目に掲げられております。スポーツ少年団の理念で最も大切にしていることは、自主的な遊びの中で、喜びや楽しさ、協調性、創造性など生きていく上で必要な豊かな情操を身に付けさせていくことです。

皆様、スポーツを行おうとしている子どもの意欲を向上させ、運動好きを増やし、子どもを取り巻く望ましい環境づくりを共に行ってまいりましょう。

令和6年6月5日

宮城県スポーツ少年団

本部長 郡山 孝幸